



要請書を広瀬市長に手渡す
横松組合長（右）



要請書を星野町長に手渡す
横松組合長（左）



要請書を佐藤市長に手渡す横松組合長（左）

需要に応じた米生産要請 上三川・下野・宇都宮に



具体的には、「各市町管内の集荷業者ならびにJA・集荷業者とのつながりがない独自販売による生産者に対し、作付参考値の範囲内で米生産に取り組むよう広く働きかけること」を要請しました。

横松組合長は「令和3年度も全体で作付参考値を順守してほしい」と要望しました。

要請書は、「主食用米の需給環境は2018年度から新たな米政策下での過剰生産基調に加え、コロナ禍での消費減少により需要が大きく減退したため、在庫量は適正在庫を大きく上回る水準で推移している」ことを指摘。「2021年産米の価格の安定を図り、本県産米の販売環境を改善するためには、全生産者が作付参考値の範囲内での生産抑制を達成することが最低の目標」となるとしています。

うつのみやの横松久夫組合長は3月5日に上三川町役場、同19日に下野市役所、同30日に宇都宮市役所をそれぞれ訪れ、「需要に応じた米生産に対する要請書」を2市1町の首長に手渡しました。

彼岸に向け、良質なユリを 球根切花専門部が目ぞろえ会

東部選果場花き集荷場で行われたユリの目ぞろえ会



げ、参加者全員でつぼみの状態などを確認。市場担当者は「新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、業務用を中心に消費が落ちた。3月は彼岸、卒業式等、花束需要が多くなるので高品質のユリを出荷してほしい」と説明しました。

JAの担当者は、2020年の出荷本数は前年から約1万本増加した実績を報告し「これからも計画的な出荷を心掛けてほしい」と呼び掛けました。

球 根切花専門部は2月9日、ユリの目ぞろえ会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場花き集荷場で開催しました。部員はじめ県や市場、JAの担当者11人が参加しました。

須藤智司専門部長は「今日の目ぞろえ会で、品質を確認・統一し、彼岸に向けて良質のユリを出荷するようにしていこう」とあいさつしました。

目ぞろえ会は、須藤専門部長らが梱包された1束、1束を丁寧に掲

春彼岸に向け現地検討会 球根切花専門部

球 根切花専門部は2月18日、ユリの現地検討会を宇都宮市内の5カ所のほ場で実施しました。部員や県・JAの担当者ら11人が参加し、春彼岸に向けて出荷を予定しているユリの生育状況などを確認しました。

今回の現地検討会では、春彼岸をはじめ、卒業式や歓送迎会などで需要が高まる前に現状を把握しました。

管内5ほ場ともに現在生育状況は順調、部員らは3月の出荷に向けて各ほ場を視察しました。

JAの担当者は「適正な管理が行き届いているので、大きな問題は起きていない。これからは、温度が高くなるため、害虫が多く発生することが予想されるので予防を徹底して、販売先や消費者にJAうつのみや産の良質なユリを提供していきたい」と総括しました。

春彼岸に向けた球根切花専門部の現地検討会



安心・安全な米を 宇都宮西部特別栽培米生産部会が消毒会

温湯種子消毒を手際よく行う
宇都宮西部特別栽培米生産部会の生産者



宇

都宮西部特別栽培米生産部会は3月12日、温湯種子消毒会を西部営農経済センターで行いました。米生産農家やJAの担当者12人が参加しました。

同部会の松本富男会長は「学校給食などにも米を提供しているので、安心・安全で食味もよい米を作ろう。種子の消毒は、基本をしっかりと押さえれば決して難しい作業ではない」とあいさつしました。

消毒会では、各部員が持ち寄った種もみを約60度の湯に10分間浸

し、滅菌しました。滅菌後は熱をとるために冷水に浸し、最後は脱水機にかけ、水分を抜く作業を行いました。



増渕さんが最優秀賞 営農相談員の活動実績を報告

宮 農相談員定例全体会議が3月8日、本所で開催。横松久夫組合長はじめ、営農関係職員、JA全農とちぎ、JA中央会から36人が出席しました。

横松組合長は「営農相談員は、組合員の要望や相談に耳を向け、適切な指導をする仕事だ。誇りを持って仕事に邁進してほしい」とあいさつしました。

令和2年度営農相談員活動実績報告は9人の営農相談員が共通テーマである「新規品目の導入、規模拡大」「収量向上支援」「新規就農者確保・育成」と各相談員が個別に設定したテーマについて、それぞれの活動を報告。審査の結果、北部営農経済センターの増渕佑紀さんが最優秀賞、優秀賞に河内営農経済センターの松原悠二さん、特別賞に南河内営農経済センターの野沢龍之介さんが選ばれました。最優秀賞の増渕さんは活動の一例として、品目推進の際に收支試算表を作成する取り組みや、生産者ごとの問題、課題に応じた支援を関係機関、部署と行ったこと、耕種農家に対する先端技術の提案から導入後の一連の対応などを報告しました。

活動実績を報告する営農相談員



県農業士と県女性農業士2人を認定 県河内農業振興事務所



県 河内農業振興事務所は3月5日、新たに県農業士と県女性農業士に認定された2人に認定証書を県河内庁舎で交付しました。新型コロナウイルス感染対策として、県は例年、全県単位で実施していた認定式を、河内地区の認定者に対し、知事の代理として同事務所長が交付を行いました。

新農業士になった上三川町石田の養豚経営佐久間伸一さんは「子どもたちが農業に夢を持ち、畜産にも興味を持つもらえるように、地域活動にも参加していきたい」と話しました。新女性農業士の宇都宮市宝木本町のワカヤマファーム役員若山ちあきさんは「農業においても女性の視点が大切なことで、男女共同参画を推進していきたい」と語りました。



県農業士・女性農業士認定証書交付式で認定証書を手にする
若山さん(前列右から2人目)と佐久間さん(前列左)(5日、宇都宮市内)

上河内中にイチゴ寄贈 上河内支部



上河内中で行われたイチゴの贈呈式

JA うつのみや上河内支部は3月9日、イチゴ「とちおとめ」560個と「スカイベリー」8パックを上河内中に寄贈しました。上河内地区はイチゴ栽培が盛んな地域のため、地元産のイチゴを地元の小中学校に贈っています。上河内地区の3小学校には11日に贈りました。

同JA苺専門部の金田典男副専門部長・上河内支部長が3年生の塩井啓斗さんと矢吹羚奈さんにイチゴを手渡しました。

塩井さんと矢吹さんは「地元産の新鮮なイチゴはとてもおいしい。給食でみんなと一緒にいただきます」と喜んでいました。

高橋高校長は「地元産のイチゴはとてもありがたい。子どもたちが郷土愛を持つようになる」と感謝の言葉を述べました。

金田副専門部長・上河内支部長は「私自身も卒業生なので愛校心は人一倍強い。地元で栽培した安心・安全なイチゴを味わってほしい」と話しました。

管内インフォメーション

ドローン操縦技術を学ぶ 防除協議会が初事業



ドローン防除協議会は3月10日、ドローン講習会を下野市の南河内ライスセンターで開きました。会員やJAの担当者9人が参加し、操縦技術などを学びました。

同協議会は2月16日に発足し、この日が初のイベント。上野誠会長は「営農集団などで積極的にドローンが使用されているが、これからは個人での購入も増えていく。近い将来にドローンが主流になる時代が来る」とあいさつしました。

講習会は、メーカーのインストラクターが講師を務めました。最初に液剤用のタンクと粒剤用のタンクの交換を実演しました。「使用後の掃除は念入りにしないと、ドローンが痛んでしまう」と説明しました。

また最新型のドローンを飛ばすデモンストレーションも行われ、会員は操縦技術を学びました。



新型のドローンを飛ばす会員



ドローンを点検する会員

小学生に教材など寄贈 下野市教委に



下野市役所で行われた教材本とランチョンマットの贈呈式

JA うつのみやは3月19日、農業や食料について学ぶための小学生向けの教材本とランチョンマットを下野市教育委員会に贈呈しました。

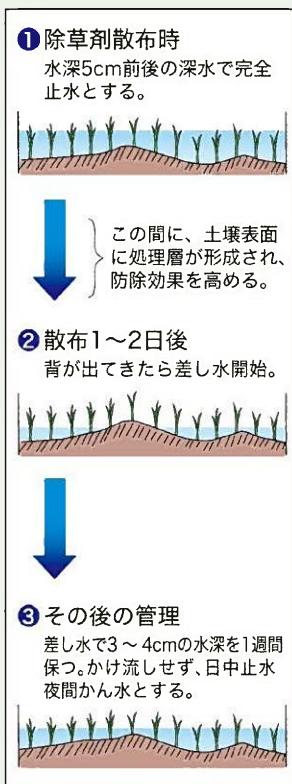
教材本「とちぎの農業」と電子書籍化したDVDは3年生を対象にしています。ランチョンマットはJAグループ「みんなのよい食プロジェクト」の一環で新一年生用に190枚贈り、給食時に使ってもらいます。

同市役所を訪れた横松久夫組合長は「教材本とランチョンマットを通して、栃木の農業の理解に役立ててほしい」と述べました。広瀬寿雄市長は「教材本とランチョンマットは教育の場で有効活用していきたい」と感謝しました。

水稻



図1 除草剤散布後の水管管理



水管理

田植え4～5日後は、水深5cm程度のやや深めとし、活着の促進を図るとともに寒風害などから稻を守ります。特に、除草剤の効果は、水管理で左右されますので注意しましょう。水もちの悪い水田は、ゆっくりさし水を行うとよいでしょう(図1)。

活着後は、浅水管理で分けつを促進させます。夜間あるいは早朝に水を入れ、日中は水を止め浅水とし、水温・地温を上げる水管理をするのが基本です。

移植後1ヶ月程度経過し、有効茎数が確保されたら、間断かん水に移行し

この間に、土壌表面に処理層が形成され、防除効果を高める。

○イネミズゾウムシ

移植2週間後に畦畔沿いの任意の50株を調査して、成虫が25頭以上の場合は防除が必要です。

○イネドロオイムシ

移植後1カ月程度経過し、有効茎数が確保されたら、間断かん水に移行し

害虫の発生を的確に把握して防除するようにしましょう。防除する基準について次とおりです。薬剤については表1を参考にしてください(薬剤を散布する場合は、使用基準を厳守してください)。

ます。排水の悪い水田は、中干しの時期となります。この時期の管理は、稻作の最初のポイントとなる大切な時期ですので、ほ場をていねいに見て回るようにしてください。

病害虫防除

昨年、イネミズゾウムシ・イネドロオイムシや縞葉枯病の被害が目立つたほ場は、移植時に箱施用剤による防除をしましょう。箱施用剤を使用しない場合は、移植後ほ場をよく観察し、

ゆめかおりの追肥

パン用小麦である「ゆめかおり」の令和2年産の蛋白質含有率は、平均12.6%でした。3年産においては、窒素成分で2~4kg/10a追肥を行いましょう。

麦



表1 移植初期の主な病害虫防除剤

病害虫名	薬剤名	散布量(10a)
イネミズゾウムシ	トレボン粒剤 なげこみトレボン	2~3kg 300ml(50ml×6本)
イネドロオイムシ	1. 幼虫発生初期	
	なげこみトレボン スタークル粒剤	300ml(50ml×6本) 3kg
	2. 幼虫による加害が始まっている場合	
	スミチオン乳剤 トレボンEW	1,000倍液を60~150ℓ 1,000倍液を60~150ℓ

図2 収穫適期の目安



乾燥・調製

刈り分けの実施

赤かび病や倒伏が発生した箇所は刈り分けし、品質低下を防ぎましょう。

穂首が黄変して、粒が口ウ程度の硬さとなつた頃が適期で、出穂後45日くらいが目安となります。穀粒水分30%以下での収穫に努めましょう(図2)。

小麦

○二条大麦(ビール麦)

穂首の8割が90度以上曲がった時期が適期で、出穂後40日くらいが目安となります。穀粒水分25%以下の収穫に努めてください。早刈りは、ビル麦の命である発芽勢を低下させますので避けましょう(図2)。

ワンプレートレシピ One plate recipe

「ナメコとトマトの豚汁」



材料(6人分)

足付き生ナメコ 100g
豚バラスライス 200g
トマト 中2個
ゴボウ 1/2本
かつおだし 6カップ(1200ml)
みそ 大さじ5~6
サラダ油 小さじ1
小口切りネギ 適宜

作り方

- ①鍋にサラダ油を熱し、2~3cm幅に切った豚バラ、1cm角に切ったトマト、小さめの乱切りにしたゴボウを炒める(3~4分ほど)。
- ②①にかつおだしを入れ強火で沸騰させてから、弱火にしてあくを丁寧にすくい、半分の量のみそを溶き入れ、ばらしたナメコを入れて7~8分煮る。
- ③最後に残りのみそを溶き入れ、おわんに盛り付け小口切りネギをのせて出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながいともかず
永井 智一



今月の直売所情報

夏野菜の苗、花の苗、好評発売中

育ちが良いと評判です。種類も豊富に取り揃えています。春撒き苗は是非JA直売所で!
※対象店舗 JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち
南河内グリーンセンター



お米の特売日

JAグリーンインターパーク 直売所 毎月第3日曜日(5/16) & JAグリーンかみかわち 直売所 每月8のつく日(5/8, 18, 28)

JAグリーン インターパーク 5月のお薦め品

アスパラガス・トマト・きゅうり
・新玉ねぎなど旬の野菜が豊富
です。
5月後半には、とうもろこしも出
始めます。



北部宮農経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



智賀都神社

徳次郎智賀都神社

徳次郎智賀都神社夏祭りは、167年の歴史をもつ宇都宮市指定文化財（有形民俗）に指定されています。付け祭りは五穀豊穣と家内安全を願い鉢を供えるとともに、六力郷の彫刻屋台6台が日光街道を練り歩き智賀都神社に繰り込みます。その絢爛豪華さや、夜祭りの屋台提灯の美しさは近郷近在に鳴り響き、大勢の人で賑わいます。お祭りは毎年1回、次回開催予定は令和4年です。

石那田八坂神社天王祭は、299年の歴史をもち神社本殿から御神体を御神輿に乗せて「御仮屋（おかりや）」に移す「下遷宮（げせんぐわ）」から始まります。その後1週間を御仮屋でお守りし、最終日の付け祭りには御神輿の帰還（かへりょん）と、夜に浮かぶ屋台提灯の光と祭囃子の響く音や、白の彩色された物や白木のまほの物、多彩な彫刻を施した屋台を神社本殿に繰り込む「上遷宮（じょうせんぐわ）」で締めくくられます。

お祭りは4年ごとに1回、次回開催予定は令和3年7月下旬です。

石那田八坂神社天王祭



J A グリーンふれあい・ 北部宮農経済センター

今年の田植えも最盛期をむかえ、水田雑草対策や病害虫防除が重要となります。JAグリーンふれあいでは、各種農薬を品揃えしていますので、皆さまの利用をお待ちしております。また、農業等に関する問い合わせは北部宮農経済センターまでお願いします。



JAグリーンふれあい・
北部宮農経済センター

農業コーナー



支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467
宝木出張所	028-622-6111
平石支所	028-661-4311
南部支所	028-656-1020
城山支所	028-652-0711
北部支所	028-665-0003
豊郷支所	028-624-8011
清原支所	028-667-0151
姿川支所	028-658-6881
上河内支所	028-674-3333
河内支所	028-673-3155

南河内支所	0285-48-2211
上三川支所	0285-55-1510
宇都宮北部宮農経済センター	028-665-0550
宇都宮西部宮農経済センター	028-658-6565
宇都宮南部宮農経済センター	028-656-8484
宇都宮東部宮農経済センター	028-660-3535
上河内宮農経済センター	028-674-2164
河内宮農経済センター	028-673-6911
南河内宮農経済センター	0285-48-2215
上三川宮農経済センター	0285-55-1511

各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミーリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先 028-633-0085